

笑顔いっぱい 花いっぱい チャレンジする有明小



光の子

志布志市立有明小学校 学校だより12月号 (R2. 12. 22)

たった一人しかいない自分を生かす

校長 山之内 和英

「人生は生きることだ。自分自身を生かさなくてはならない。たった一人しかいない自分を、たった一度しかない一生を本当に生かさなかったら、人間、生まれてきたかいがないじゃないか。」



これは、山本有三という作家の小説『路傍の石』の一節です。主人公の吾一少年は、友人関係で人生に嫌気がさし、死のうと鉄橋の枕木にぶら下がり、汽車を止めてしまいます。それを聞いた担任の先生は、そんな吾一少年に対して、「吾一」という名前は「われ一人なり。われはこの世に一人しかいない。」という意味であると話します。そして冒頭の言葉を吾一に言います。

今年、新型コロナウイルスの世界的な感染爆発で、世の中が一変しました。自殺者の数が随分増えています。このような世の中だからこそ、子どもも大人も今一度「生きることの意味」を考えてほしいのです。

本校の児童の中には、学校で嫌なことがあると、「ああ、死にたい。生きるのが嫌になった。」「おまえなんか死ねばいいのに。」「死ね。」「おまえ殺すぞ。」などと、「死」という言葉を軽はずみに使う児童がいます。きっとテレビや映画等の影響もあるのでしょう。ほとんどが言葉の意味を分からずに使っていると思われる。

この世の中に、自分という存在は一人しかいません。つまり、人はそれぞれに、一度しかない人生を、一つしかない命を生きています。他にかわるできない「唯一無二」のものであるということを、しっかりと胸に留めてほしいのです。そして、「自分自身を生かす」とは、「人生を本気で生きる」という意味です。人生は一度きり。時の流れは戻すことができないもの。これは、どんな人にも同じように与えられたものです。自分自身の存在を大切にできる、そして仲間の存在を大切にできる。そのような人間に育ってほしいと強く願います。

結びになりますが、今年は新型コロナウイルスの感染防止のために、臨時休校、行事の規模縮小、参観者の制限、PTA行事へのご協力、そして毎朝のお子さんの検温など、保護者の皆様には多大なご協力をいただき、誠にありがとうございました。また、地域の皆様には、学校行事への参加のお断りなど誠に申し訳ありませんでした。新しい年の前途は、まだまだ険しいかもしれませんが、今後とも本校へのご理解とご協力をお願いいたします。来年もよろしく願います。

大いに学んだ 集団宿泊学習

11月下旬、5年生29名が大隅青少年自然の家で1泊2日の集団宿泊学習を行いました。1日目は往復3時間半かけての万滝登山と野外炊飯、2日目は革細工と草スキーやインラインスケートを体験しました。子どもは協力することの大切さを実感し、クラスメイトとの絆を深めることができました。



祝 三分の一成人式

12月12日、4年生の保護者を招いて、二分の一成人式が盛大に開かれました。22人一人一人が大勢の前で将来の夢などを発表しました。全体合奏や合唱には涙をぬぐわれる参加者もいらっしゃいました。最後に保護者からサプライズの手紙のプレゼントがあり、子どもはとても喜んでいました。10年後の将来が楽しみです。



おいしいお米に感謝

5年生が体育館横の田んぼで育てたお米を使って家庭科「ご飯とみそ汁」の調理実習を行いました。浸水させお鍋で炊き上げた有明っ子米のおいしいこと。つやがあって一粒一粒たっているのに、口に含むと粘り気も感じられ、全員がそのおいしさに笑顔になりました。米の栽培・精米へのご協力ありがとうございました。



おいしいお豆腐をつくらよ

3年生は、体育倉庫裏で育てた大豆を使って、豆腐づくりを行いました。途中ふきこぼれるなどしましたが、「これも経験です。」と前向きにとらえ、作り上げました。苦勞してできたお豆腐のおいしいこと。堅すぎず柔らかすぎず、力強い大豆の風味が感じられました。お手伝いして下さった学校応援団や保護者の皆様ありがとうございました。



よい年になりますように

新年に願いを込めて、おやし・おふくろの会が正門前に門松を立ててくださいました。高さ2m60cmの飾り付けも華やかな門松が完成しました。この立派な門松のおかげで新年はすばらしい年になることでしょう。ご家庭でもお子さんに大掃除や新年を迎える準備をさせ、家庭の一員としての自覚をもたせてください。



メディアとのつきあいかたは?

12月の学級PTAでは、「わが家におけるゲーム・スマホについて」の意見交換をしました。いくつか紹介します。

- <低学年>
 - ☆ 親のスマホを子どもに見せない(渡さない)ようにしている。
 - ☆ 9時になったらリビングにメディア機器を集めている。
 - ★ SNSなど、親が知らない間に子どもが使い方を知っている。どこで知ってくるのか。
- <中学年>
 - ☆ やるべきことを終わらせてから1時間以内と決めている。
 - ☆ 平日はゲームや動画は禁止にしている。
 - ★ 子ども同士の話がテレビではなくゲームや動画に関するものになっている。(〇〇をアップデートしたか? フレンズ消すぞ。)など)言葉づかいが乱暴になった。みんながやっているからとやらせ始めた家庭もある。
- <高学年>
 - ☆ 親の携帯からゲーム時間や内容を制限できるアプリがある。
 - ☆ 話し合いの後、誓約書を作っている。ルールが守れなかったら使用禁止にしている。
 - ☆ 個室ではなく、リビングでメディア機器を使わせている。

入賞 おめでとう

- <県児童生徒作文コンクール> 入選 5年: 岩崎 凜
- <県図画作品展>
 - 特選 1年: 金子 蘭々
 - 入選 1年: 平井 瑛琉
 - 2年: 小蓬 廉
 - 3年: 和田上 ひなた
 - 4年: 福元 煌央
 - 5年: 岩崎 凜
 - 5年: 濱島 龍斗
 - 6年: 上野 攻之介

今後の主な行事予定

- 12月24日(木) 2学期終業式(午前授業・給食なし)
- PTA事業部安全パトロール(3・6年)
- 1月8日(金) 3学期始業式(午前授業・給食なし)
- 1月9日(土) 第2土曜授業日
- 1月13日(水) 鹿児島学習定着度調査(~14日)
- 1月13日(水) 避難訓練(火災)
- 1月15日(金) 子ども読書の日
- 1月18日(月) 生活リズム強調週間(~24日)
- 1月20日(水) 薬物乱用防止教室(5・6年)
- 1月21日(木) 授業参観・学校保健委員会・学級PTA
- 1月28日(木) 有明中学校入学説明会
- 2月3日(木) 有明小学校研究公開(2・4年: 15:05下校 / 2・4年以外: 12:40下校)
- 2月18日(木) わくわく発表会(3年以上: 総合的な学習発表)

コロナ禍の中行けて感謝 修学旅行

←いただいた感想から

